

# 国際親善総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

受付番号 1302\_09

研究課題名	ファリシマブの糖尿病性黄斑浮腫、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫に対する治療効果および安全性の後ろ向き観察研究
研究の対象	本研究は、2022年5月から2025年1月までに横浜市立大学附属病院、横浜南共済病院、国際親善総合病院において、糖尿病性黄斑浮腫、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症と診断され、ファリシマブ硝子体内注射を受けた18歳異常の患者さんを対象としています。
研究目的・方法	<p>・研究の目的</p> <p>糖尿病性黄斑浮腫、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症は、視力低下の主な原因となる病気です。これらの治療には、血管内皮増殖因子（VEGF）という物質を抑える注射が標準的に使われています。最近では、VEGFに加えてアンジオポエチン2（Ang-2）という物質も同時に抑えるファリシマブという新しい薬が登場しました。この薬は、より持続的な治療効果が期待されていますが、長期間の効果や安全性についてはまだ十分なデータがありません。特に日本での実際の診療データが必要です。この研究では、ファリシマブ治療が視力改善や網膜の状態にどのような効果があるかを調べ、さらに治療回数を減らし患者さんの負担を軽減できるかを確認します。本研究結果をもとにより良い治療法を確立し、患者の治療選択肢を増やすことを目指します。</p> <p>・研究の方法</p> <p>通常の診療で記録された診療情報や画像検査のデータを利用します。これらの情報をもとに、治療前後の視力の変化、網膜の状態の変化、有害な副作用の有無などを確認します。対象となる患者さんに対して新たな検査や通をお願いしますことはありません。</p>
研究期間	西暦 2025 年 6 月 12 日(研究機関の長の許可日)～2027 年 12 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	本研究では、診療録に記録された以下の情報を利用します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・基本情報：年齢、性別、既往歴、過去の眼科治療歴</li><li>・視力情報：治療前後の視力の変化</li><li>・画像検査の結果：網膜の厚みや病変の状態など</li><li>・治療記録：治療回数、治療の間隔、合併症の有無</li></ul>
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません	
<b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b> 社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院 診療科(所属)名 眼科 研究責任者名 鎌田 晃広 病院長名 清水 誠 〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1 電話番号 : 045-813-0221 (代表)	

作成日 2025 年 5 月 26 日  
国際親善総合病院